

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

2018年10月～12月期

第91回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事:宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - (1)前期比 前期比(平成30年7月～9月比)
 - (2)前年同期比 前年同期比(平成29年10月～12月比)
 - (3)来期見通し 来期見通し(平成31年1月～3月見通し)
5. 業種別の景気動向
 - (1)製造業
 - (2)建設業
 - (3)卸売業
 - (4)小売業
 - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1)回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	139社
回答率	27.8%

(業種別)

製造業	39社
建設業	29社
卸売業	13社
小売業	24社
サービス業	34社
合計	139社

(2)実施時期

2018年10月～12月期

(3)調査内容

調査対象の第3四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4)調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5)調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

2. 調査結果(DI)

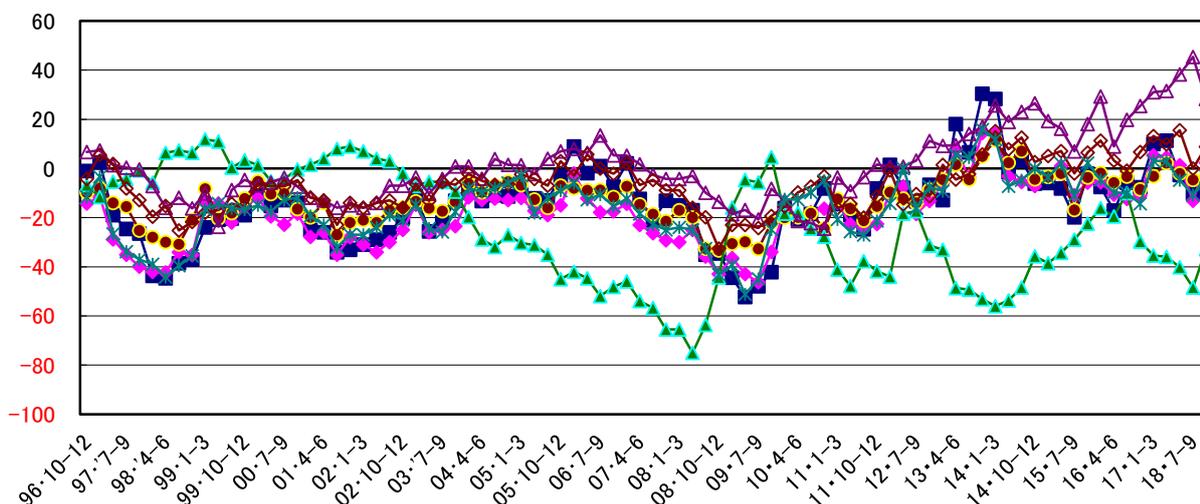
DIとは(景況判断指数)とは

DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりという意味します。

売上DI = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)
 採算DI = (好転 ") - (悪化 ")
 資金繰りDI = (好転 ") - (悪化 ")
 仕入価格DI = (下落 ") - (上昇 ")
 雇用状況DI = (不足 ") - (過剰 ")
 設備投資DI = (拡大 ") - (減少 ")
 業況DI = (好転 ") - (悪化 ")

前年同期比(全企業DIの推移)



		13.10-12	14.1-3	14.4-6	14.7-9	14.10-12	15.1-3	15.4-6	15.7-9	15.10-12	16.1-3	16.4-6	16.7-9	16.10-12	17.1-3	17.4-6	18.4-6	18.7-9	18.10-12
■	売上	30.4	28.3	-1.6	3.2	-6.1	-5.9	-8.1	-19.8	-2.2	-7.5	-17.1	-5.8	-7.6	10.0	11.4	-2.7	-10.1	-5.5
◆	採算	14.5	14.2	-3.2	-5.5	-7.1	-3.4	1.0	-10.9	-5.8	-5.6	-10.6	-12.4	-11.0	5.4	4.5	1.3	-13.1	2.4
●	資金繰り	5.0	11.6	2.4	7.1	-4.4	-3.4	-2.0	-16.8	-3.6	-1.9	-5.7	-3.3	-8.5	-3.1	2.3	-2.0	-4.6	-3.2
▲	仕入価格	-53.2	-56.0	-53.6	-48.4	-35.7	-38.5	-34.3	-29.0	-22.5	-16.0	-19.5	-10.0	-29.7	-35.4	-35.9	-40.1	-48.4	-32.8
△	雇用状況	17.0	25.7	18.9	23.0	26.6	19.3	16.2	6.9	18.1	29.3	8.9	19.8	25.4	31.0	31.6	38.3	45.4	28.4
◇	設備投資	5.7	15.2	7.9	12.6	2.7	5.0	7.1	-2.0	6.5	11.3	3.3	-0.8	6.8	13.2	9.9	15.5	0.0	8.8
*	業況	15.8	11.8	-7.2	-4.8	0.0	-3.5	2.0	-11.0	2.2	-4.7	-9.8	-10.0	-14.4	3.1	3.0	-4.8	-10.8	-3.3

3. 概況

季節的要因による好転があるものの、経営を圧迫する仕入価格の上昇

(1) 今期の特徴

前期比を見ると、仕入価格の上昇を危惧することに加え、雇用状況における人手不足を挙げる事業所が多い。この動向は、前年同期比及び来期見通しにおいても同様の数値が結果として表れ、「人手不足」と「仕入価格の上昇」が数値以上に経営に悪影響を与えている。

また、前年同期比でみると、建設業と小売業において、売上の大きなマイナス推移を示す結果となっており、本年度の厳しい経営状況が伺える。

今期が繁忙期となる製造業、卸売業、小売業、サービス業では、大きくプラスの数値を示す項目があるものの、仕入価格の上昇による利益確保が困難な状況が続いている。

(2) 来期の見通し

ほとんどの業種で数値の悪化で予想する結果となった。特に人手不足については、多くの業種において高い水準の結果を示した。

今期繁忙期を迎えた業種では閑散期に入るため、小売業以外マイナスの数値となっている。加えて、全業種において、資金繰りの悪化を懸念する数値が表れており、受発注の減少や仕入価格の上昇により、安定した収入は見込めない状況にある。

事業所においては、薄利経営を強いられる中、必要とする人材の確保のために、人件費を上げるなどして雇用の調整を図ることも求められる状況となっている。

(3) 経営上の問題点

1位「従業員の不足」、2位「需要の停滞」、3位「原材料(仕入単価)価格の上昇」という結果であった。前回の結果と比較すると、2位と3位が逆転する結果になったが、1ポイント差であり、5位以内の項目の変化もなかった。

各業種でみていくと、前回から大きな変化は見られないが、依然として「従業員の不足」が5位以内に入っている。

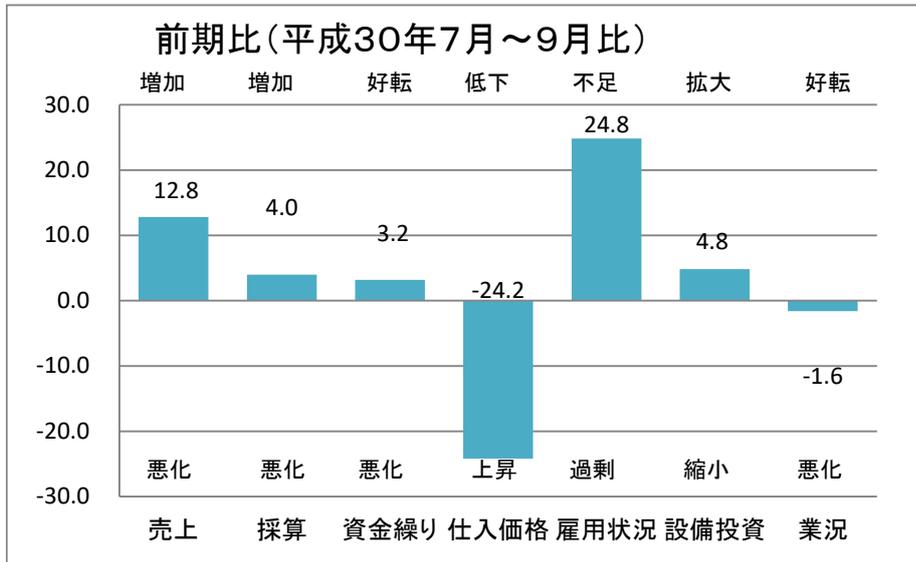
(4) 今後の対応策

1位「新規市場を開拓した」、2位「その他の合理化を実施したい」、3位「生産性を向上させたい」という結果になった。

前回の結果と比較すると、「従業員を新規雇用したい」という項目が前回2位から今回4位にランクダウンしており、「生産性を向上させたい」が3位にあがった。

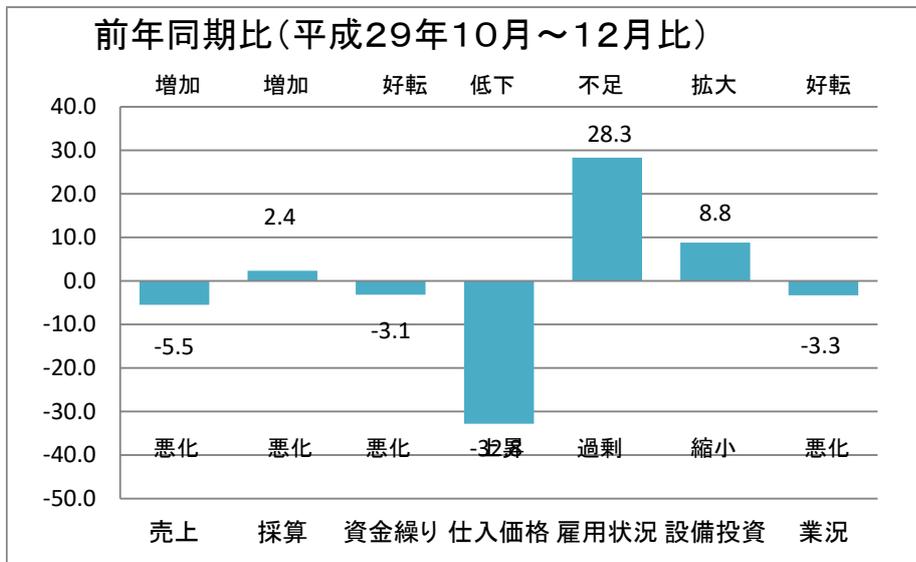
業種別にみていくと、小売業で前述した「従業員を新規雇用したい」という項目が5位内に入ってきておらず、全業種の順位変動に影響を与えたと推測される。

4. 県内の景気動向(全業種)



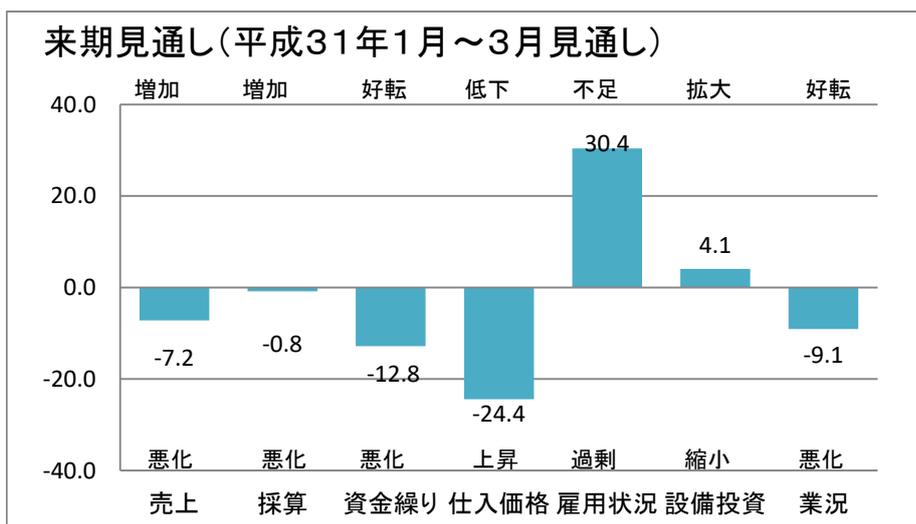
前期と比較すると、5つの項目においてプラスの値を示した。仕入価格は上昇しており、雇用状況については、人材が不足する状況であり、ともに20を超え、状業を行う上で厳しい結果となった。

今期に関しては、年末の需要期による売上増加を起因とする好転を挙げる事業所が多い中、反対に季節的な要因による閑散期による悪化を危惧する声も挙がっている。



前年同期と比較すると、全体としてマイナスの値を示している。

全ての業種を通じて、仕入価格の上昇が薄利経営の要因となっており、受注量が減少する中、人手不足も進んでおり、事業活動への影響が今後生まれることが推測される。悪化との回答が多い中、低い水準ではあるものの、不変とを感じる事業所も少数あった。



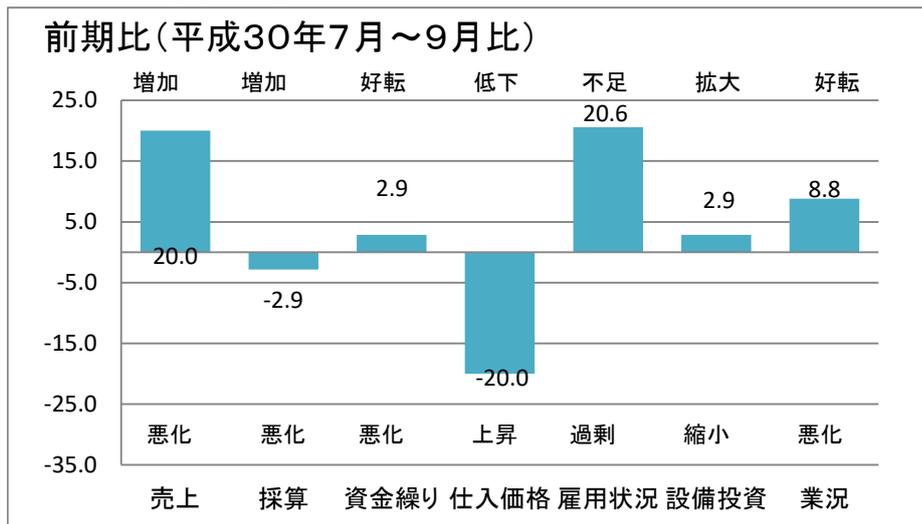
来期の見通しでは、マイナス値を示すものがほとんどであり、各業種でも、プラスの値を示しているのは、小売業だけであった。

仕入価格の上昇については、来期においても大きなマイナスを示し、全業種を通じて、売上高への転嫁が課題となる。

今季繁忙期を迎えたサービス業や製造業、卸売業が来期は、閑散期に入るため、数値の悪化につながったと推測される。

5. 業種別の景気動向

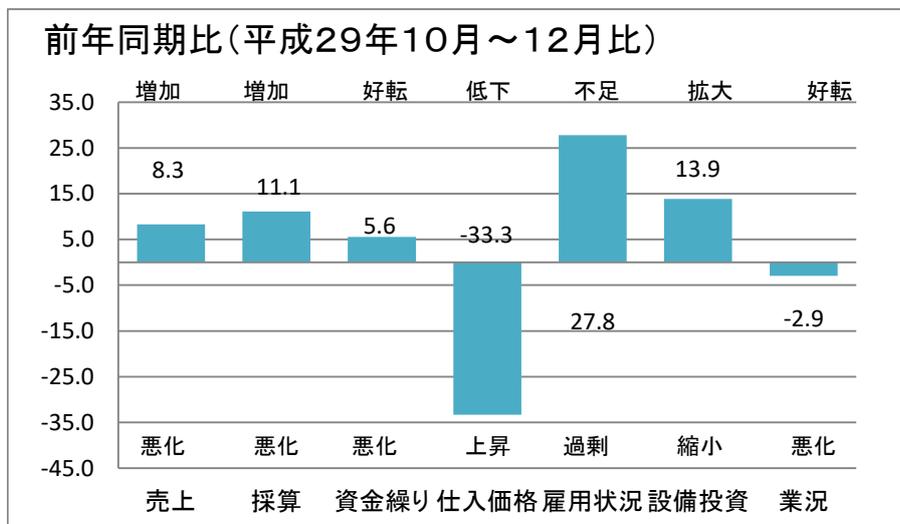
(1) 製造業



前期と比較すると、売上が20ポイントも上昇し、これを受け業況も好転となるプラスに推移する結果になった。

10～12月は繁忙期になる事業所もあり、今回の結果につながったと推測され、年末の需要による増収を予測する声も挙がっている。

しかし、雇用状況から見ると、20ポイントのマイナスとなっており、従業員不足での生産能力低下という回答も見られた。

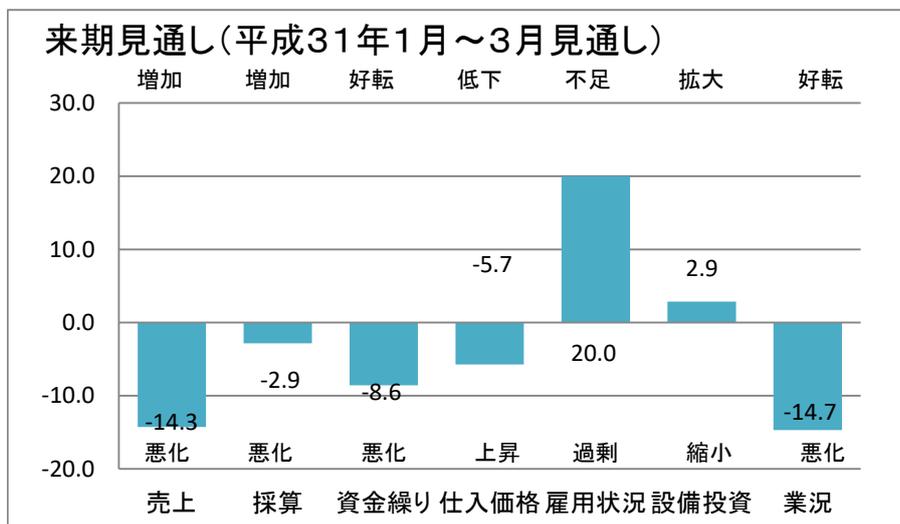


前年同期と比較すると、全体的に数値はプラスを示す形となった。

売上高はプラスを示しているものの、受注の減少や仕入高の高騰により、収益性の悪化となっている様子である。

仕入価格の上昇は30ポイントを超えており、薄利経営を余儀なくされている。

また、事業所としては、人手不足と挙げる声がおおく、受注に見合った供給が難しい様子である。



来期の見通しでは、投資を除き、悪化を予想する結果となった。

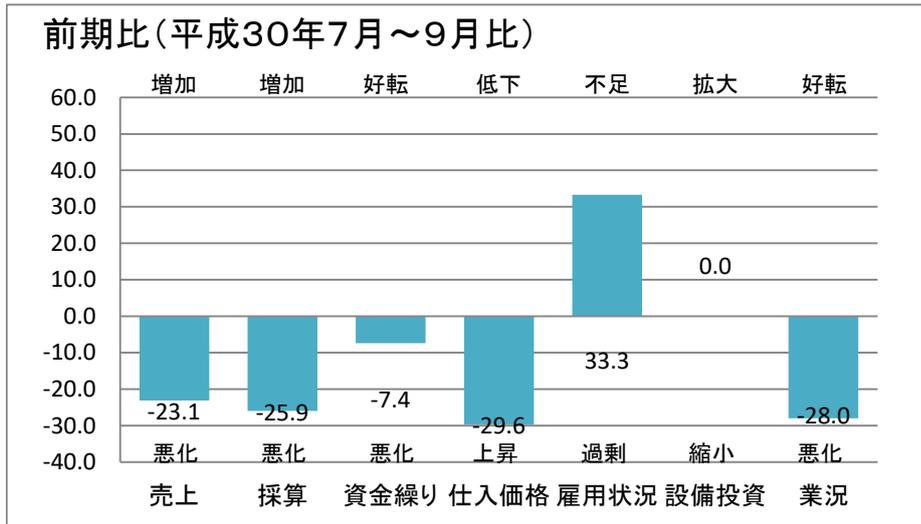
年間で一番の繁忙期である10～12月期と比較すると、来期は全体を通して、マイナスの様子が大きくなる。

事業所によっては、海外の情勢や為替取引の影響が自社の業況に左右することが少なくなく、来期の見通しは不透明である。

また、これからの消費税増税を不安視する意も挙げられた。

5. 業種別の景気動向

(2) 建設業

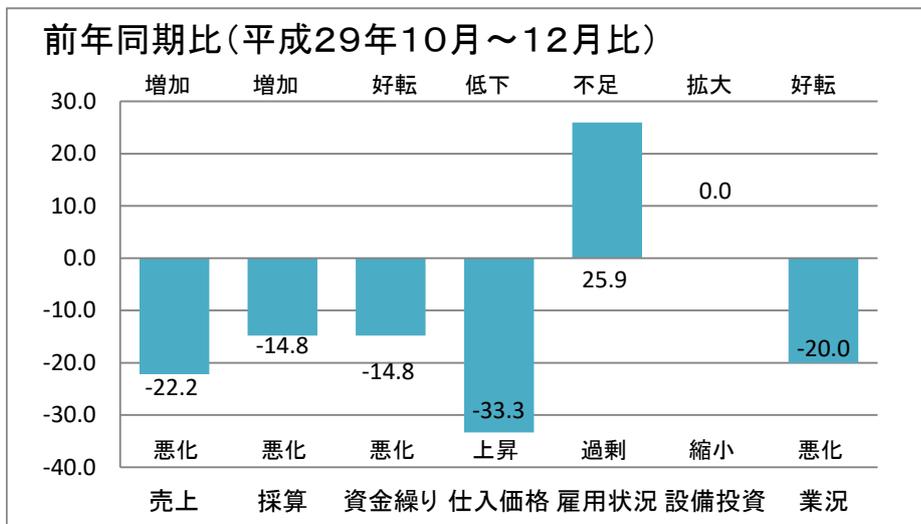


前期と比較すると、ほとんどの項目で悪化を示している。

業界内では、二極化が進んでおり、需要を見込み増収を見越す事業所と減収となる事業所の差が出てきている。

10月の増税の影響で、受注が増えているとの回答もみられた。

一方では仕事は増えたが、人手不足のため、十分な受注ができていなかったり、制限せざるを得ない状況であるとの回答も見られた。

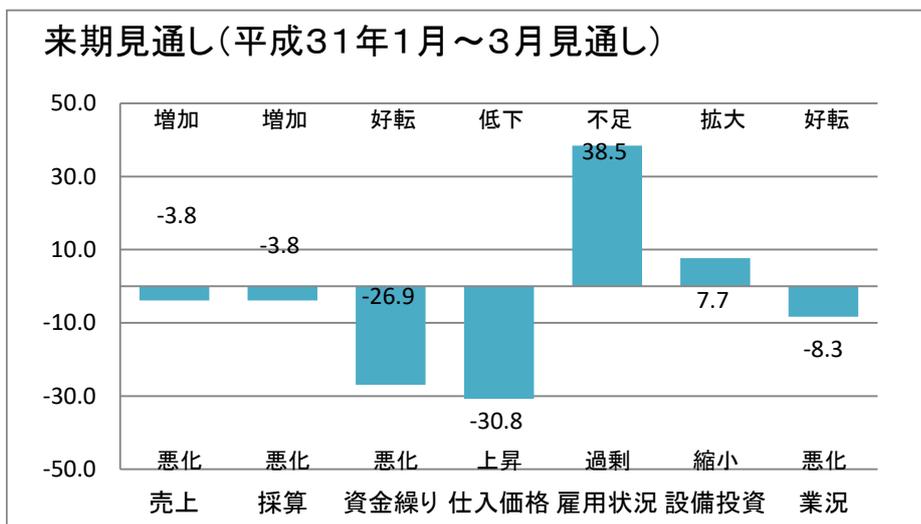


前年同期と比較すると、数値はマイナスを示すものがほとんどという結果になった。

受注量の減少に加え、業界全体の景気落ち込みや仕入価格の上昇により、厳しい状況となった。

回答の中では、受注は増加しているは、材料費等は上昇しているため、増収増益につながっていないというものがあつた。

しかし、一部事業所においては、増収増益を挙げる事業所もある。



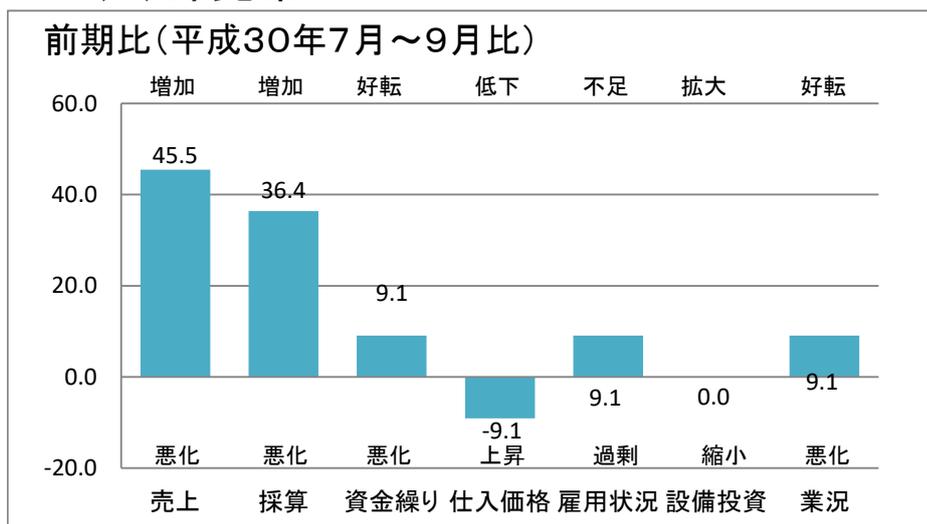
来期の見通しでは、マイナス値になると予想する事業所が大部分を示した。

受注量の減少が大きな理由として挙げられ、加えて、仕入れ価格の上昇を利益に転嫁できない状況が続く、来期の悪化を見通す結果となっている様子である。

個別の回答では、収益について、見通しが立たないや入札・受注制度が変わったことによる受注困難と挙げられた。

5. 業種別の景気動向

(3)卸売業

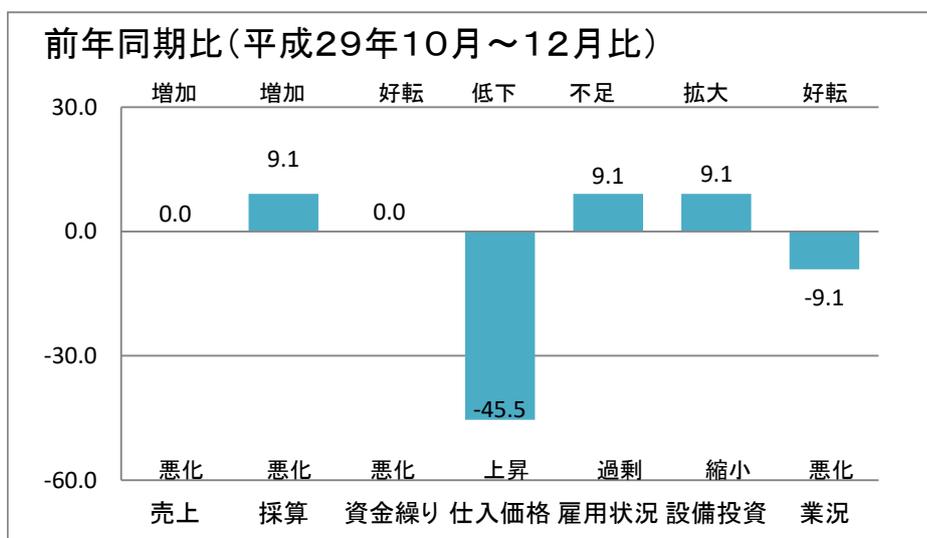


前期と比較すると、全体的に数値が改善している。

要因としては、10～12月は年末の時期であり、正月の商材や歳暮等で物が多く動く時期となることが挙げられる。

回答のあった事業所において、季節的な要因による需要が大きい様子である。

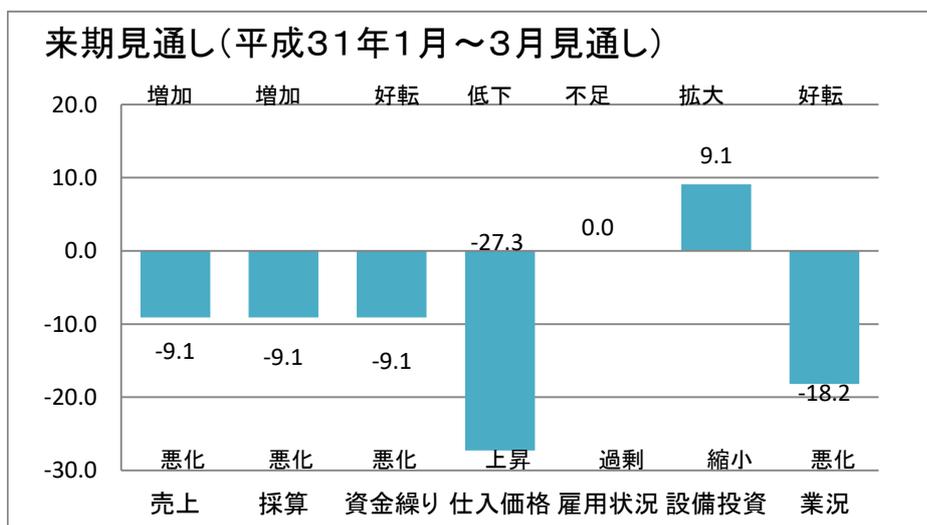
しかし、雇用状況において、人手不足が課題としてある様子であり、結果として9ポイントの増加を示した。



前年同期と比較すると、変化なしの数値を示すものもあるが、仕入価格の上昇が顕著に示した。

業界全体の不振に加え、消費者の消費行動が鈍化することにより、取引先となる小売店からの受注減少が要因として考えられる。

また、回答のなかでは、ふるさと納税の規制強化という文言も見られた。



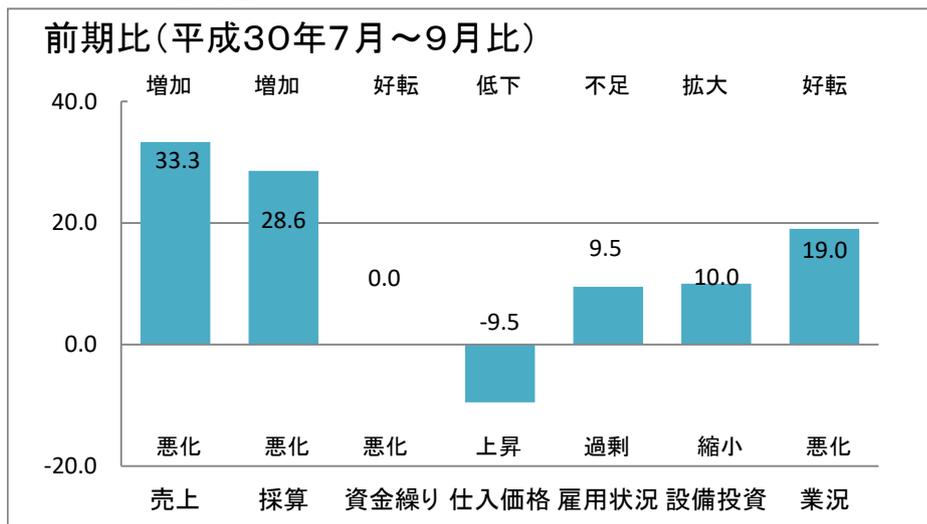
来期の見通しでは、マイナスを示すものがほとんどであり、閑散期に入り、業況が悪化するとようそうされている。

また、来期においても仕入価格の上昇も顕著であり、事業所においては、利益確保のための施策が求められる。

閑散期となる来期について、消費の冷え込みが顕著に表れることを懸念する声が多く、その結果、業況悪化が20ポイント近くマイナスを示す結果となっている。

5. 業種別の景気動向

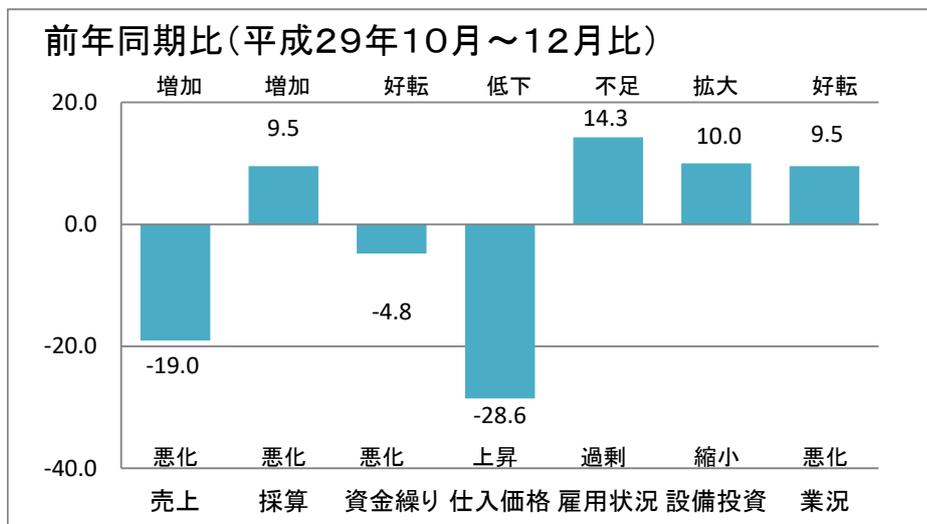
(4) 小売業



前期と比較すると、大幅に数値が改善しているものの、仕入価格の上昇が続いている。

他の業種では、季節要因による好転を挙げる声が多かったものの、消費行動が直接作用するためか、数値とは反する声が多くあった。

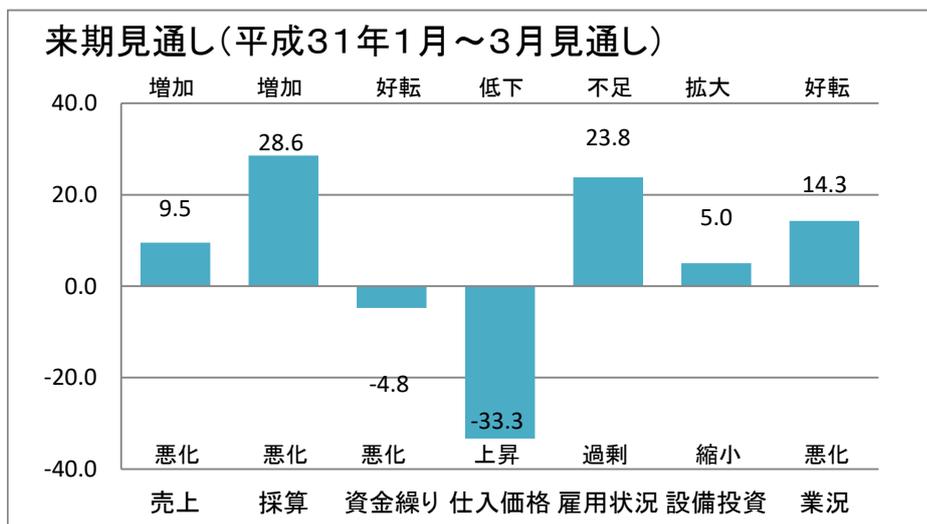
季節の影響についての回答がよくみられ、利益確保のための人員を減らしたり、催事をするなど各事業所で自助努力により対応をしている。



前期と比較すると、売上と仕入価格の数値がマイナスを示している。

特に売上高の悪化は顕著に数値として表れており、本年度の顧客の減少が大きい様子を表している。

売上のマイナス拡大であるものの、年末の繁忙期による需要増加を期待することで業況の数値は好転を示したのではないかと推測される。また、採算においても十分に確保できる需要があった様子である。



来期見通しでは、プラスを示すものが多く、ポジティブな回答が多くみられた。

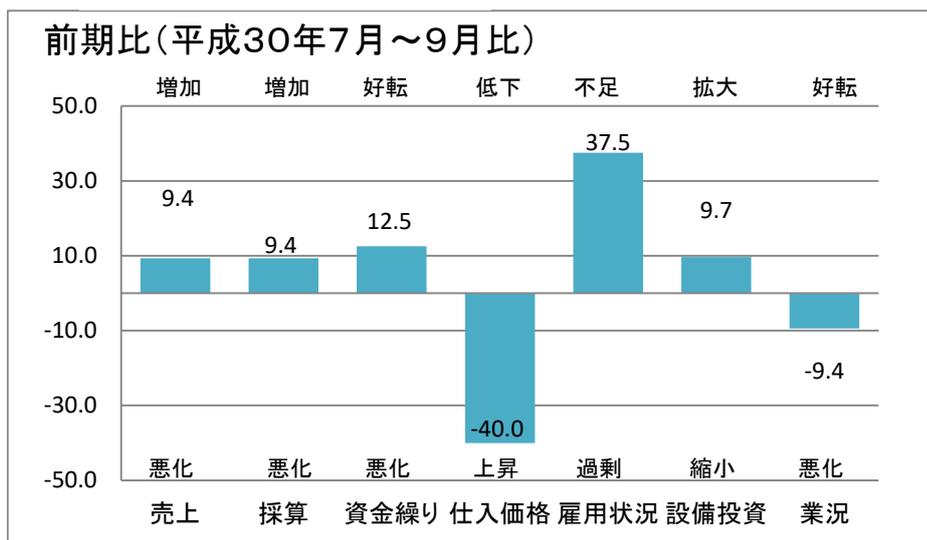
季節の影響を受ける小売業であるが、来期に繁忙期を迎える事業所も多くみられ、数値として現れたのではないかと推測される。

また、採算においても大きなプラスとなっており、来期の業況として、好転が期待できる。

しかし、仕入価格の上昇は引き続き懸念材料として考えられている。

5. 業種別の景気動向

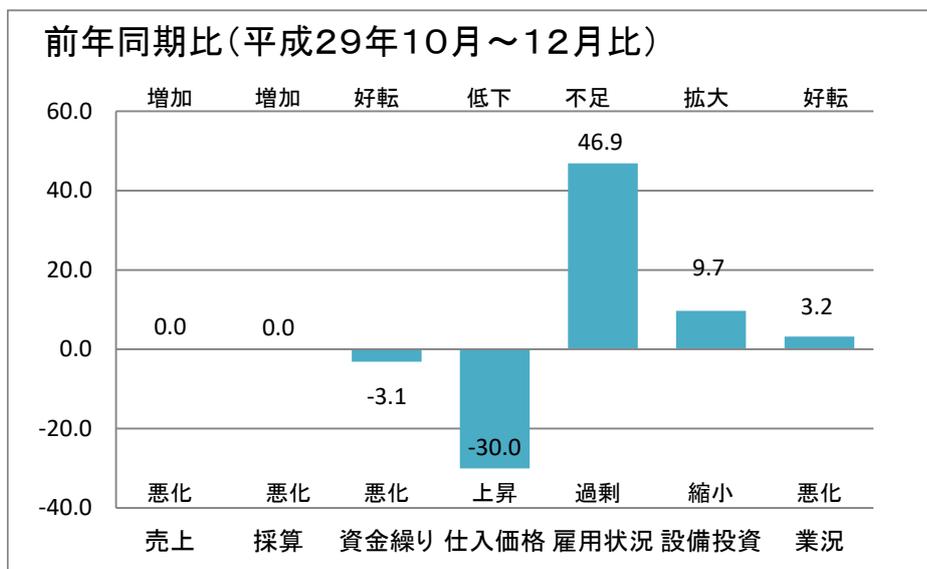
(5) サービス業



前期比の結果を見ると、仕入価格が大きく悪化しており、売上等の数値は改善しているものの、業況は悪化を示している。

繁忙期となる事業所が多いものの、仕入価格が上昇しているため、大幅な売上上昇につながっていないと推測される。

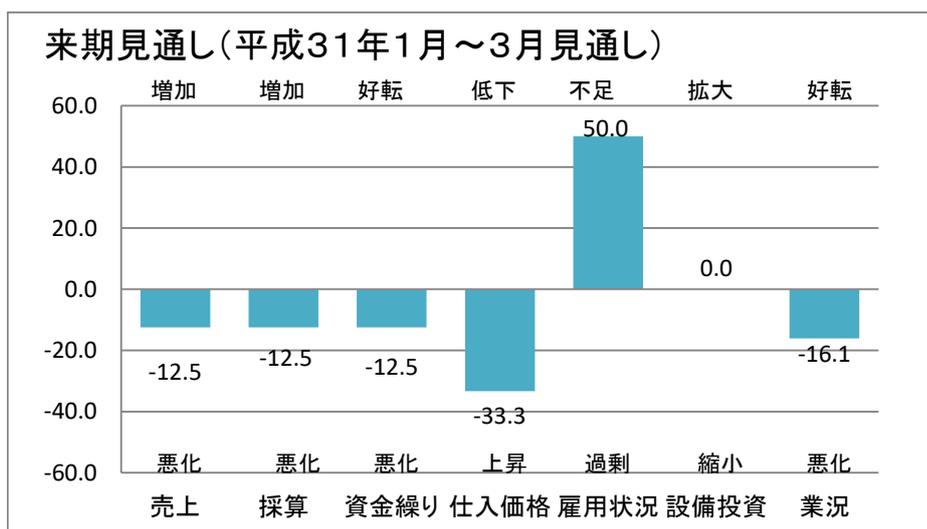
また、人件費の増加を不安視する事業所もあり、加えて、人手不足など事業を行う経営環境は厳しい状況にある。



前年同期比の結果をみると、売上と採算は変化なしの数値となったものの、雇用状況において、人手不足が顕著となる数値を示した。

回答の中でも、人手不足という言葉が多くみられ、その影響で業況が悪化している。

仕入価格の上昇による懸念を挙げる声が多いものの、前年と比べてみるとあまり大きな変化はないと答える声が多い。季節的な要因はあるが、現状維持の経営が続いている様子である。



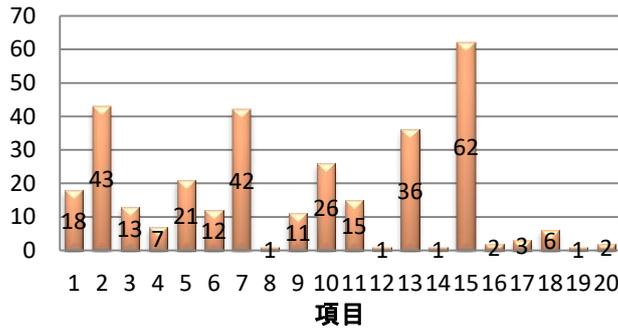
来期の見通しでは、設備投資以外の項目で二桁の数値を示している。

10～12月は繁忙期であったため、来期の数値は悪化すると予想しており、また、人手不足の影響を懸念する回答がみられた。

自助努力として、経費の削減や見直し、節約を行うものの、これに反し仕入価格の上昇や消費税増税により、利益の確保できない状況が続いている。

6. 経営上の問題点

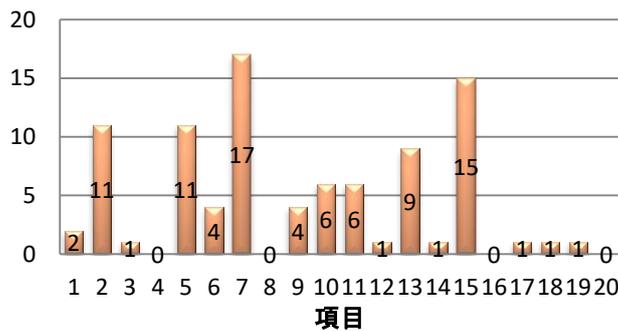
全業種



順位

- 1位 従業員の不足
- 2位 需要の停滞
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足
- 5位 人件費の増加

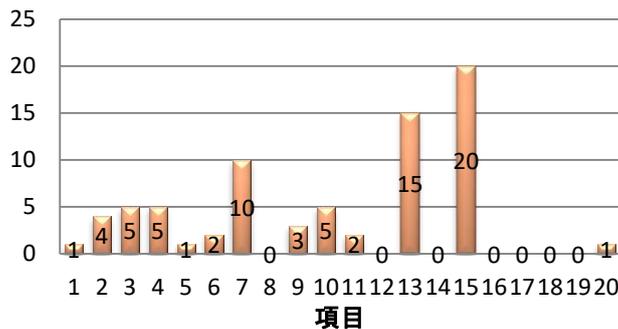
製造業



順位

- 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 2位 従業員の不足
- 3位 需要の停滞
- 3位 生産設備の不足・老朽化
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足

建設業



順位

- 1位 従業員の不足
- 2位 熟練技術者(従業者)の不足
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 新規参入業者の増加

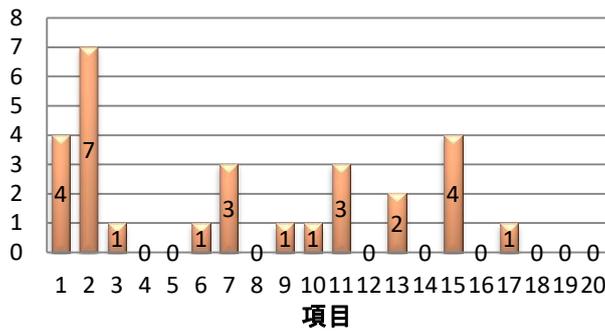
項目一覧

1. 県外大手企業の進出による競争の激化
2. 需要の停滞
3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
4. 新規参入業者の増加
5. 生産設備の不足
6. 製品ニーズの変化
7. 原材料(仕入単価)価格の上昇
8. 生産設備の過剰
9. 原材料・人件費以外の経費の増加
10. 人件費の増加
11. 製品(販売)単価の低下・上昇難
12. 原材料の不足
13. 熟練技術者(従業者)の不足
14. 金利負担の増加
15. 従業員の不足
16. 事業資金の借入難
17. 商品在庫の過剰
18. 取引条件の悪化
19. 円高による海外製品との競争激化
20. 代金回収の悪化

2. 需要の停滞
4. 新規参入業者の増加
6. 製品ニーズの変化
8. 生産設備の過剰
10. 人件費の増加
12. 原材料の不足
14. 金利負担の増加
16. 事業資金の借入難
18. 取引条件の悪化
20. 代金回収の悪化

6. 経営上の問題点

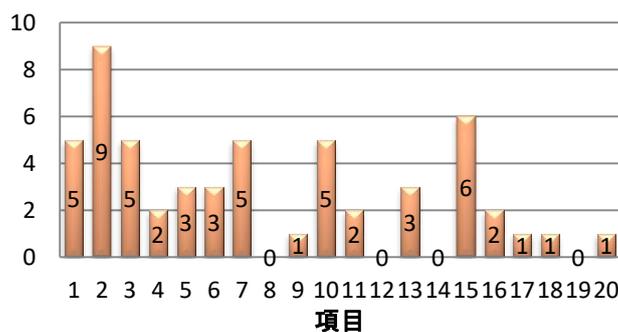
卸売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 従業員の不足
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

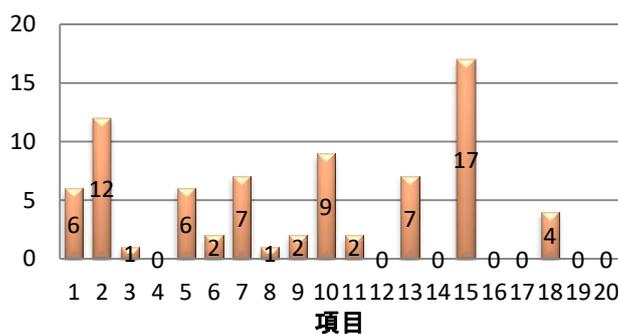
小売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 従業員の不足
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 人件費の増加

サービス業



順位

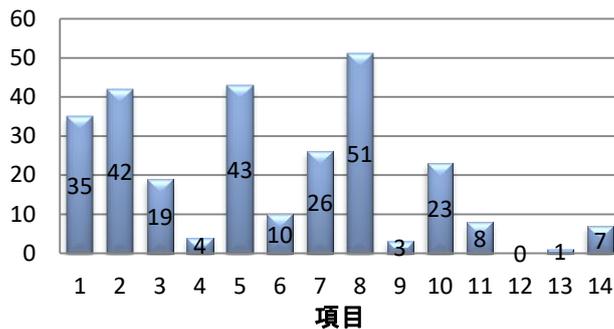
- 1位 従業員の不足
- 2位 需要の停滞
- 3位 人件費の増加
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 為替相場による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

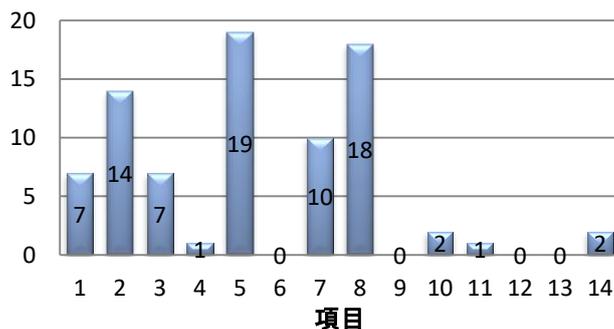
全業種



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 生産性を向上させたい
- 4位 従業員を新規雇用したい
- 5位 新製品の開発を行いたい

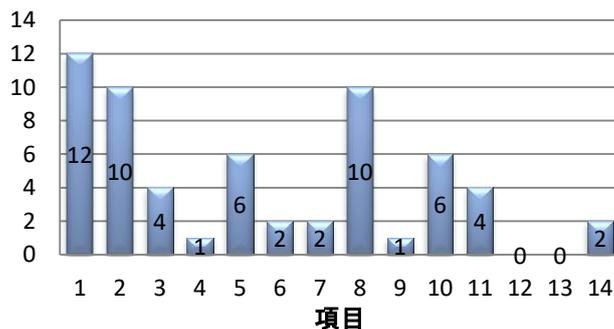
製造業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 生産性を向上させたい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 4位 従業員を新規雇用したい

建設業



順位

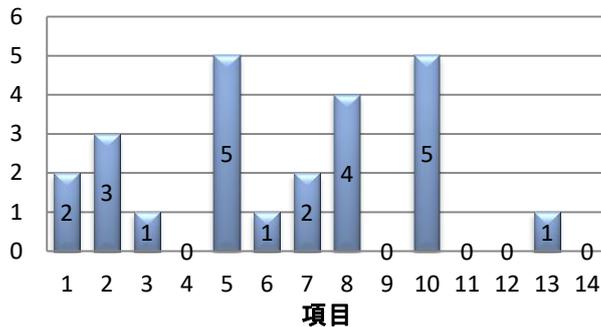
- 1位 従業員を新規雇用したい
- 2位 生産性を向上させたい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 4位 その他の合理化を実施したい
- 4位 経営の多角化を行いたい

項目一覧

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 7.新製品の開発を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 9.業種転換を行いたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | 13.海外から原料・部品を調達したい |

7. 今後の対応策

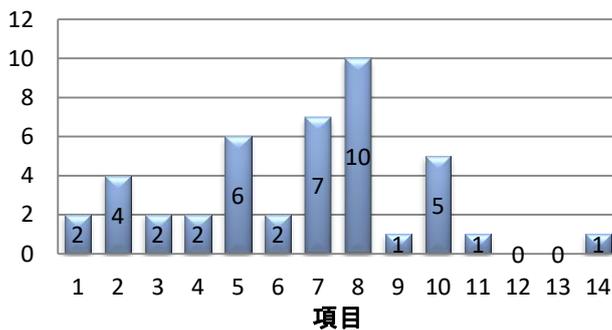
卸売業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 1位 経営の多角化を行いたい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 4位 生産性を向上させたい
- 5位 従業員を新規雇用したい
- 5位 新製品の開発を行いたい

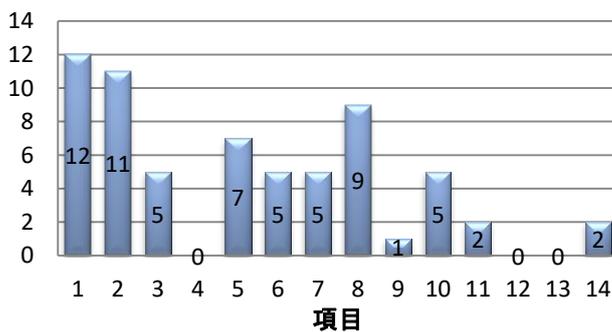
小売業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 新製品の開発を行いたい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 生産性を向上させたい

サービス業



順位

- 1位 従業員を新規雇用したい
- 2位 生産性を向上させたい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 4位 その他の合理化を実施したい
- 5位 人件費を削減したい
- 5位 金融機関から資金を調達したい
- 5位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

項目一覧

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 7.新製品の開発を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 9.業種転換を行いたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | 13.海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
サービス業	ホテル業	宮崎	消費税の軽減税率制度が複雑すぎる。10%への引き上げも先送りまたは廃止を希望します
サービス業	不動産鑑定評価業務	宮崎	①法人税の減税やルールの見直し②無駄な助成金のバラマキはやめてほしい③逆に必要な助成金に対して手続きをもう少し簡素化してほしい④社会保険料⇒会社の負担が大きいまた回収に対して手数料もない
サービス業	不動産売買・仲介・管理	宮崎	工学部がある私立大学が宮崎にあるとよいと思いましたが。人材確保の面で(鹿児島、大分、熊本にはあるので)
サービス業	ホテル業	都城	設備産業である為、補助金や固定資産税の減免を望みます。
サービス業	飲食業	日向	やはりどの業種でもそうですが、人手不足の問題が深刻です。生産設備の見直しや、労働条件、社内システムの見直しなども必要となってくると思われれます。
サービス業	ホテル、飲食業	日向	日向市には多くの土地がありますが、市街化調整区域等のいろいろな規制がかかっており、商売にとっても適した場所が有効に利用できないため、もっとそこら辺りの規制を緩和していただきたいと思ひます。
サービス業	0	日南	清武南IC～北郷までの東九州自動車道の早期開通

サービス業	環境整備	日南	労働者不足 中小企業サポート
卸売業	業務用製品卸	日向	消費増税の延期
卸売業	青果卸	日南	消費税が上がれば良くなるわけではない
建設業	一般土木建築工 事業	宮崎	「働き方改革」「有給休暇消化5日」などの政策は本当に何の為に行っているのか？100名以下の中小企業の現実とはかけ離れていると思う。
建設業	家具製造 内装 工事	宮崎	雇用対策
建設業	電気工事	延岡	人材の不足を痛感しております。求人募集の機会をもっと増やしてほしい。
建設業	建築業	串間	大手電気メーカー等が住宅部門に参入し、小企業は太刀打ちできなくなってきた。各業種に沿った事業内容に規制すべきではないでしょうか。
建設業	電気工事業	西都	建設業従事者、Uターン、Iターンに対する福利厚生面での支援をお願いしたい
建設業	建設業	都城	①全般的に人手不足の状態の為、対策が必要。②公共工事の安全供給。
建設業	建設	日向	入札制度改革により、経営・事業計画が立てられない。1件の工事を受注するのがとても難しい。
建設業	土木建設	日南	市役所発注のランクの格差による。不公平をお願いしたい

小売業	飲食業	西都	若い人がどんどん外に出ていく事に対して市は何かやっているのか。農業は大切なものですが、クリエイティブの方にも力を回してみれば。新しいものづくり、古いものとの合体。デジタルとアナログの使い分け。面白く楽しい西都市に。ただ花を植えるだけではダメだ。
小売業	LPガス販売	日南	人口減により売り上げが減少した。(売り上げ減の理由の一つです。人口減を止めてほしい。人口増は無理にしても、せめて減は食い止めていただきたいです。
小売業	小売酒販店	日南	地方の零細経営の生き残る道はあるのだろうかと感じるこのごろです
製造業	化学品製造	延岡	JR輸送は災害でダメージを受けた場合の対応に苦慮する。物流は地方の肝なので何とかしてほしい
製造業	塗装業	延岡	雇用対策の強化
製造業	調味料製造業	都城	ものづくり補助金、エネルギー補助金の拡充。
製造業	学生服製造業	都城	消費税増税及び年号の変更に伴う対応に出来るか不安があります。
製造業	本格焼酎製造及び卸売	都城	緑地規制の緩和と製造現場の省人化への支援
製造業	鉄鋼業	日向	仕上がりコストに占める電力コストの割合が高いため、電力単価低減に繋がる政策を望む
製造業	製材、集成材	日南	問4の該当する答えの内容を変更してほしい。マイナス面ばかりでプラス面の内容も記入してほしい。
製造業	金属加工業	日南	弊社は、一人前になる為に最低3年は必要です。外国人枠だけを広げても、田舎の中小企業にまで、潤うだけの人は回ってこないと感じます。行政に、このことを理解していただきたいと思います。